



さつき沼ビオトーププロジェクト

さつき沼とは

さつき沼は六戸町の館野公園の中心にある沼です。広さは2.35ヘクタール（サッカー場3面ほど）です。もともと明治時代に農業用のため池として作られました



ましたが、昭和60年（1985年）に現在の形に整備され、農業用としてだけではなく、四季を通して地域住民の憩いの場としても利用されています。特に春には桜の名所として多くの花見客で賑わいます。また冬には白鳥を始め多くの水鳥で賑やかになります。さらに、ヘラブナなどの魚も多く住み、

1年を通して釣りを楽しむ人を見ることができます。しかし、34年間にわたって手入れがされていなかったため湖底に泥が溜まり、もともと1.8メートルほどあった水深は現在場所によっては50センチほどになっています。また、夏にはヘドロからメタンガスが発生しているようすが確認できます。また、アメリカザリガニやブラックバスなどの外来生物が持ち込まれています。

